



2017年度事業計画

2016年度において富山労福協は、勤労者の相互扶助の精神を基本に、地域社会との連帯活動に取り組みました。また、勤労者の福祉向上をめざし、講演会・スポーツ大会などに積極的に取り組んできました。

2012年度からの「新経営計画」の成果と課題を踏まえ、2017年度「中期計画」の策定と実現に向け更なる経営の安定化に取り組んでまいります。

2017年度は、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」を基本に、格差・貧困社会への是正とセーフティネットの強化、人と人のつながり・絆が大切にされる、ぬくもりある社会づくりに向け、県下勤労者の労働福祉事業に取り組むとともに、協同労働、協働社会の実現に取り組んでいきます。

労働福祉事業では、2015年度から取り組んできました「奨学金問題」について、2015年度で給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める署名においては約301万筆（富山県約37,000筆）の署名を中央労福協から馳文部科学大臣に提出、2016年度は給付型奨学金制度の創設等を求めるアピールの賛同を要請し、富山県内では団体・個人合わせ約140の賛同を得ました。今年度においても給付型奨学金制度の創設と拡充に向けて取り組んでまいります。また、次世代に労働福祉運動をつなげていくための「理念・歴史」についても取り組んでまいります。

収益事業では、各事業部（会館事業部、宴会事業部、駐車場事業部）と連携をはかり、売り上げの拡大と徹底した経費の削減を基本に着実な経営改善を進め、更なる安定経営を目指します。しかしながら、原油の高騰による経費の増加に加え、ゴルフアート会館設立から今年で33年を迎え老朽化対策が急務になっていることから、計画的に順次進めることとします。

今年度は、労福協運動の基盤を更に固める年と位置付け、県下に働く勤労者の福祉向上に取り組むとともに、収益事業において安定した収益体制の構築を前面に打ち出し、労働福祉事業団体や労働組合、協力企業のより一層の協力のもと、安定した経営に取り組みます。

2017年度重点実施項目

労福協の基本姿勢である「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」を目指すと共に、労福協の安定経営に取り組めます。

- (1) 勤労者福祉活動の推進
- (2) 経営基盤強化による安定経営
- (3) 各事業部との収益力強化に向けた連携強化
- (4) 福祉事業団体との連携強化
- (5) 各種委員会機能の強化

I 労働福祉事業

勤労者の社会福祉の充実に向けて取り組むとともに、各種事業の効果的な運営に取り組みます。

1. 社会的な連帯を深める運動と政策の実現課題

- (1) 貧困・多重債務の解消と生活支援
 - ・消費者行政・相談機能の強化
- (2) 消費者運動との連携
 - ・消団連の活動への積極的参加
- (3) 地球環境保全と食の安全
 - ・食の安全・安心の確保
- (4) 政策制度要求の実現
 - ・中小企業勤労者福祉の向上
 - ・中小企業勤労者福祉サービスセンターの拡充(県内広域化)
 - ・個別事業団体の重点要求の実現
- (5) 防災・減災への取り組み
- (6) フードバンク活動のフォローアップ

2. 勤労者の総合生活支援(ライフサポート)

- (1) 勤労者の福祉推進事業
 - ① 勤労者福祉向上事業
 - ・ライフプランセミナー (2月)
 - ・全国労働者福祉強化月間行事
 - ② 文化振興事業
 - ・ゆとり支援事業 (4回)
 - ・美の祭典への賛助 (11月)
 - ③ 子育て支援事業
 - ・スキー・スノーボードの集い (1・2月)
 - ④ 消費者支援事業
 - ・衛生管理講習会 (1回)
 - ・税制学習会
 - ⑤ 勤労者生活応援事業
 - ・生活見直し相談会 (9・3月)
 - ⑥ 講演会の実施
 - ・労働者福祉・消費者支援等の講演

- (2) 勤労者の健康増進事業
 - ① ビーチボール大会 (6月)
 - ② ボウリング大会 (地域 LSC)
 - ③ パークゴルフ大会 (5・6月)
 - ④ 健康づくり講座 (1月)
 - ⑤ 救命に関する講習会 (地域 LSC)
- (3) 勤労者交流事業
 - ① 労働者の祭典支援事業 (4月)
 - ② 福祉事業団体新年祝賀会 (1月)
 - ③ 国際交流事業 (3月)
- (4) 退職者・高齢者の支援事業
 - ① 県退職者連合との連携強化
 - ② 労働者福祉事業団体 OB との連携
- (5) 地域ライフサポートセンターの活動推進事業
- (6) 福祉事業宣伝活動事業
 - ① 機関誌の発刊
 - ② ホームページの充実
- (7) 労働者福祉運動・事業の基盤強化
 - ① 福祉事業団体との連携強化
 - ② 労働者福祉運動を担う人材の育成・教育

II 収益事業（会館事業・宴会事業・駐車場事業）

2017年度は、収益事業統合して4年目に入り、収益事業の安定化に向けて各事業の更なる売上げ拡大と収益の確保に努め、全員一丸となり安定経営に臨みます。

2017年度の富山ライトレールの一部複線化や2019年度の南北接続により、富山駅北地域の活性化において、周辺環境が年々整備されることが期待されます。各事業にあっては地域環境の把握と、迅速な対応での利用拡大を図り、経費の削減による、財務体質の強化に努めます。また、収益事業の一体化による更なる運営の効率化について検討を進めます。

各事業は引き続き自立の追及を図りながら、連携を強化し収益事業全体の経営基盤の安定を目指します。

1. 会館事業（労福協センター）

ゴルフアートとやま会館と他の事業の双方の価値観を高め、勤労者並びに利用者から好感を得られる取り組みを行います。

- (1) 経営基盤の強化

- ① テナントの入居促進、未収金の回収
- ② 施設改修の計画推進と徹底した経費の削減
- ③ 環境整備・各種法令遵守基本の会館運営

2. 宴会事業(ボルフアートとやま)

「安心・快適・おいしい・楽しい」をお客様にお届けすることで顧客満足度向上をめざし、効率的な事業運営と収支計画の必達による、自立運営の基盤をつくります。また、地域環境に十分対応できるよう取り組みます。

- (1) 安全衛生の徹底
 - ① 環境衛生と食品安全の徹底
 - ② 備品管理の徹底
 - ③ 教育訓練による意識啓発
- (2) サービス意識の徹底と向上
 - ① 顧客満足度の向上
 - ② 苦情ゼロの確立
- (3) 売上拡大
 - ① 営業企画力の充実・強化
 - ② 営業推進力の充実・強化
- (4) コスト意識の確立
 - ① 無理・無駄の排除
 - ② 一件毎の収益の確保
 - ③ 労務管理の徹底

3. 駐車場事業部(富山北モータープール)

富山駅周辺のまちづくりは、富山市の玄関口にふさわしい賑わいの創出とまちなみの形成の整備が進んでいます。環境変化に対応し、利用者に使いやすく、安心な駐車場であるために、必要に応じて改善を行います。

- (1) 宴会事業部との連携及び事業企画の検討
- (2) 周辺施設との連携強化
- (3) 貸倉庫の利用推進
- (4) 老朽化設備への対応(エレベータ・防犯カメラ・雨漏り 等)
- (5) 利用者への親切な対応とサービスの向上

4. 各種委員会の充実

- (1) 事業運営委員会
- (2) 宴会事業推進委員会